

## 2007年ワールドに関する緊急情報

ポストダーウィンとなる2007ワールドですが、オランダのコンスタティン・ウド氏の強い要望により、本来の開催国であった日本がこれを譲る形でヨーロッパでの開催が決定されました。2001年和歌山全日本の時に開かれた総会の席で、ウド氏から挨拶があったことを記憶されている方も多いのではないかと思います。

ところが数日前、この件に関し、ウド氏からヨーロッパで開催することができなくなったとの回答があった旨、ワールドテザーカウンスル(WTC)のセクレタリーであるリチャード・スペンサー氏から連絡が寄せられました。その連絡の中でリチャード氏は本来の順番に戻して日本で開催してもらえないかと非公式に打診をしてきました。

ダーウィンワールドへ出発を前に、余すところ2週間しかない中での連絡であるため、JTAとしては具体的に対応する術ありませんが、当然ダーウィンで開催されるWTCミーティングにおいて、WTCからJTAに対し正式に開催を依頼されることが予想されます。まずは、これまでの経緯を確認したうえで判断をしてゆきたいと思っています。

本来であれば11月の総会で話し合いの上決議したいところですが、もし日本で引き受ける場合時間との勝負となります。幸いダーウィン大会にはJTA理事の過半数のメンバーが参加しますので、現地で臨時理事会を招集しその場で答えを出すことがあるかもしれません。

会員各位におかれましては事情賢察の上、前もって了解を頂きますようお願い致します。

日本テザー協会  
会長 本吉 讓治